

2021年度事業報告書

自 2021年4月 1日

至 2022年3月31日

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会
2021年度事業報告書
(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

1 博覧会の計画に関する事業の準備

(1) 各種基本計画の策定

基本計画の策定を踏まえて、会場、運営、情報基盤、事業リスクなどの各種基本計画の策定に向けた着実な準備を進めた。

来場者輸送計画検討会においては、来場者輸送対策協議会における協議の基礎となる、輸送計画（案）をとりまとめた。

ICT関連では、2021年6月末にICT基本計画を完成させ、協会内各部局とICT部とで、個別システム検討の具体化を進めた。また、12月20日から1月11日において、安全で安心な万博の運営を実現するためのサイバーセキュリティ基本計画策定事業者の公募を行った。

催事関係では、12月23日から1月18日まで万博期間中の催事構成の基礎となる催事基本計画策定事業者の公募を行った。

また、博覧会会場及び舞洲駐車場の整備に係る環境影響評価（環境アセスメント）については、2021年9月16日に環境影響評価準備書を大阪市に提出、10月1日に公表し、11月15日まで環境の保全及び創造の見地からの意見を募集した。市条例に基づき大阪市による手続きが進められ、2022年2月9日に当協会に対して、市長意見が述べられた。

(2) 企業・団体等の参加に向けた着実な準備

企業・団体等は、ともにテーマの実現を目指すパートナーであり、これまでの万博よりも幅広い参加ができるよう、多様な参加形態を用意することで、多くの参加を促していく。

2021年8月19日、企業・団体を対象とした大阪・関西万博「出展参加説明会」（オンライン）を開催し、より多くの企業・団体が本万博への関心を高め、参加に向けた検討を具体的に進められるよう、各種参加形態に関して説明を実施した。

民間パビリオン出展の参加について、2021年9月16日より10月29日まで募集を行い、企業・団体等から出展参加の申し込みをいただいた。「パビリオン出展審査委員会」を開催し審査を実施。2025年日本国際博覧会日本政府代表による承認を経て、「パビリオン出展」参加者（13企業・団体）を内定し、2月10日に記者会見およびプレスリリースにて公表した。そして、内定各社との間で正式決定に向けた契約手続きを進めた。正式契約が整ったのち、5月末に「パビリオン出展者発表会」を東京にて実施する予定。

テーマ事業協賛について、2022年1月末時点で契約締結を完了した協賛者（15社）をプレスリリースにて公表（2月17日リリース）。2022年4月18日に実施予定の3年前イベントにおいて、テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」の基本計画の発表を予

定している中で、公表に同意を得る見込みの計24社（内、新規で協賛決定予定企業9社）の協賛企業社名を発表する予定。

会場整備参加・運営参加について公募を開始（募集期間は2月9日から3月7日まで）。2月9日にプレスリリースを行うとともに、協会ホームページに掲載。協賛者の決定および公表は5月以降順次実施することを予定している（協会ホームページで公表）。

（3）会場整備及び来場者輸送対策の具体化

施設整備の一部及び基盤インフラ整備について基本設計を実施し、2022年3月15日には、会場整備にかかる工事等発注予定のうち、4月以降に入札公告を予定している建築工事、エネルギー施設運用等委託及び土木工事の計15件の概要を公表した。

また、輸送計画（案）を基に来場者輸送対策を具体化するため、来場者輸送対策協議会を設置するとともに、協議会の下、専門部会において、鉄道乗換駅における旅客誘導、主要駅シャトルバス発着場、交通需要マネジメント（TDM）等について検討を進めた。また、アクセスルートの計画やTDM等、来場者輸送に関する基本方針（案）を作成しており、早期に関係者の合意を得て決定することを目標に進めている。

（4）協会テーマ事業など着実な準備の推進

テーマ館の具体化に向けた検討をプロデューサーと協働して行う

8名のテーマ事業プロデューサーに、テーマ館の具体化のため、テーマ館の運営基本計画（建築デザイン・展示コンテンツ・イベント計画・バーチャルコンテンツ計画・予算計画等）を委託し、鋭意検討いただいて3月末に取りまとめた。

（5）催事計画の検討

催事施設に必要な情報の調査収集と設計与件の整理を行った。万博会期中、催事施設で行われる催事全体をコーディネートしていただくため、1月1日に催事企画プロデューサーを設置した。催事企画プロデューサーの監督のもと、催事の基本的な構成方針等を検討している。

（6）運営計画の検討

入場券の販売制度（券種・価格・販売枚数・購入方法等）や販売計画（戦略・体制等）について検討を行い、販売管理システムについて2021年12月20日に公募を開始、2022年3月3日に最優秀提案事業者を決定した。また、営業施設の基本コンセプトや施設ごとの業種・業態の構成、規模・配置、売上規模・事業収支などについて検討を行った。

来場者サービスやサービス提供体制、清掃・ごみ管理等、運営に係る与件の整理やコンセプトなどについて検討を行った。

また、9月29日に安全対策協議会を設置し、防災・警備の両面を中心に、安全安心な

万博の開催に向けた検討を行った。

感染症対策検討会議を2022年1月25日に開催し、ドバイ万博における感染症対策に関する情報共有等を行った。

リスク管理会議を2021年12月9日に開催し、各種リスクの評価分析、リスクマネジメントに関する情報共有等を行った。

(7) 未来社会における環境エネルギー検討委員会での検討内容の具体化

本万博の事業コンセプト「People's Living Lab」の推進に向けて、未来社会における環境エネルギーの姿や、本万博において実証・実装を進めていくべき技術を「未来社会における環境エネルギー検討委員会」において検討し、6月22日に中間とりまとめである「EXPO 2025グリーンビジョン」を公表した。

その公表後、①ビジョンの具体化（EXPO 2025グリーンビジョン具体化タスクフォースを同年9月16日に立上げ）、②ビジョンに記載した技術以外の検討（特に需要側技術）及びバウンダリ設定、カーボンフットプリント（CFP）算定のための検討を進めている。

これらの検討や後述する「持続可能性有識者委員会」での議論を踏まえて、EXPO 2025グリーンビジョン改定版を2022年度4月に公表を予定している。

(8) 持続可能性管理システム（ESMS／Event Sustainability Management System）の構築に向けた検討

ミラノ博・ドバイ博・東京オリパラのESMS調査結果に基づき、本万博においてもESMSを構築すべく検討に着手した。迅速化を図るために、東京オリパラで構築済のESMSを活用し、本万博としての独自要素も織り込んで構築。カーボンニュートラル関連については環境エネルギーチームと相互連携して取り組んだ。

本万博において、持続可能な運営を実現するため、「持続可能性有識者委員会」を2021年12月17日に設置し、脱炭素、資源循環など持続可能性の観点から配慮すべき分野などについて議論を行い、2022年4月に「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針」を公表する予定。また、調達についての専門的な検討を進めるため、調達ワーキンググループを2022年3月4日に設置した。

2 その他博覧会に関する事業の準備

(1) 「TEAM EXPO 2025」プログラムの推進

2021年4月に「TEAM EXPO 2025」プログラム公式Webサイトをリニューアルした。

2021年6月にはオンラインイベントである『「TEAM EXPO 2025」プログラム 共創チャレンジキックオフミーティングー未来への宣言ー』を開催し、個性豊かな共創チャレンジの活動内容を広く発信するとともに、視聴者に対して「TEAM EXPO 2025」プログラムの理解促進を図った。

また、2021年4月より、会期前から、多様な実践者や有識者が、それぞれの立場からテーマに関する取り組みを国内外へ発信し、万博を共に創り上げていく場として開催するオンライントークイベント「EXPO PLL Talks」を開始。「新しい万博の価値—サイバー万博の可能性—」、「参加型万博のカタチ—音楽×共創」及び『「いのちを高める」シリーズ—未来の地球学校：あなたと共に創る協奏社会！—』などのテーマで開催し、2021年4月1日から2022年3月31日までに計36回開催した。

「TEAM EXPO 2025」プログラムへの登録数は、2022年3月31日時点で共創パートナーが162団体、共創チャレンジが460件となった。共創チャレンジについては全国規模で活動する案件（108件）及び、海外で、あるいは海外との交流を展開する案件（33件）が既にエントリーされ広域化・国際化がなされている。共創パートナーについては、107企業をはじめ、12自治体、16教育研究機関も加わり、様々なステークホルダーからの登録申請をいただいている。

（2）広報・啓発活動の実施

・広報活動

参加国招請用に制作した動画を、公式ホームページへ掲載した。国内メディアを中心とした報道対応を実施するとともに、公式ホームページ、公式SNSを活用し、各国の参加表明、イベント告知、活動報告、各種動画の公開などの情報発信を国内外に向け行った。

また、ドバイ万博において、ジャパNDER（12月11日）、BIEデー（3月30日）の機会を活用し、国内外メディアを対象とした記者会見（12月11日、3月30日）をドバイ万博会場内のメディアセンターにて行った。閉幕式・旗渡し式（3月31日）終了後には、日本館において国内メディアを対象に、UAE/ドバイから日本/大阪・関西へ引き継がれたBIE旗とともに若宮万博担当大臣等が登壇し、取材会を実施した。

・啓発活動

ロゴマークの商用利用について、ライセンシーの公募を2020年度末より実施した。4月に事業者3者を決定し、販売開始に向け調整を進め、9月16日より期間限定で公式ライセンスグッズの一般販売を常設店舗・POP—UP SHOP・ECサイト等で開始した。また、期間終了後のライセンス運営管理を行う事業者の公募を行った。

次に、関西の小学校16校、中学校34校において教育プログラムをスタートし、子どもたちに万博やSDGsについて学びの機会を提供するとともに、自ら課題解決について考えるきっかけ作りに取り組んだ。

そして、更なる機運醸成に向け、スペシャルサポーター制度の立ち上げ、9月13日にポケモンが、3月18日に世界最大級のソーラー船「ポリマ号」が就任した。11月1日からキャラクターデザインの公募（応募総数：1898作品）を実施し、3月22日に最優秀作品を決定・公表した。公式テーマソングの制作をアンバサダーでもあるコブクロに依頼した。ドバイ万博日本館1階PRブースにて大阪・関西万博のPRに取り組んだ。ま

た、12月1日に（一社）日本経済団体連合会との共催でシンポジウム「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に向けた共創とビジネスチャンス」を東京・経団連会館で開催した。地方自治体における大阪・関西万博への参加促進を目的に2つ以上の自治体が連携する自治体連携プログラムの実施に向け、1月26日にプロポーザル審査を行い、優秀提案事業者を2者選定し、3月5日にオンラインスクール「海のがっこう in 四国水族館」、3月9日に自治体向けオンラインシンポジウム「海を楽しむ、海を守る、“笑顔輝く”日本の海」を開催した。

（3）博覧会国際事務局（BIE）等国際関係調整

博覧会国際事務局（BIE）情報コミュニケーション委員会（2021年4月23日）、BIE執行委員会（同年4月28日）、BIE総会（同年6月29日）、また、博覧会国際事務局（BIE）規則委員会（同年10月25日）で特別規則の審議を受けるとともに、BIE執行委員会（同年10月19日）、情報コミュニケーション委員会（同年10月22日）、BIE総会（同年12月14日）を通じたBIEとの情報共有を行ったほか、万博の成功に向け、BIEと連絡・調整を行った。

（4）参加国の招請に向けた活動の実施

2020年12月1日のBIE総会での登録承認以降、政府、関係機関と連携しながら、招請活動を展開した。また、2020年国際博覧会（ドバイ）期間中、当初職員3名を常時派遣していたが、最終的には5人に増強し、同博覧会の機会を活用した各国への参加招請活動を進め、大阪・関西万博の機運醸成を高めるとともに、同博覧会に関する情報を収集した。（3月31日時点における参加表明国・国際機関87か国、6国際機関）

また、直近のドバイ博を分析・調査し、大阪・関西万博の準備及び運営に活かすため、ドバイレッスンとしてJETROと委託契約を締結した。

3 事務局体制の整備・強化と財政基盤の確立に向けた検討

（1）事務局体制の整備・強化

関係規程等の整備を着実にを行うとともに、事務局体制の整備・強化を進め、今後の組織や運営体制のあり方等の検討を行った。

（2）財政計画の策定と予算の効率化・効果的な執行

財政計画の策定に向けた準備を行うとともに、予算の効率的かつ効果的な執行体制の整備を行った。

財務委員会策定の寄附基本方針のもと、寄附を検討している各企業に対し寄附を依頼。

（3）財務会計の監査強化

財務会計の透明性・公正性を一層高めるため、会計監査人として有限責任監査法人トー

マツを選任した。

4 社員総会・理事会の開催

(1) 臨時理事会（2021年5月28日）

開催方法：決議省略の方法による

提案事項

- ・2020年度決算に係る計算書類等の承認の件
- ・定時社員総会の開催に関する件

出席等

提案書に対し、理事18名全員の書面による同意の意思表示及び監事2名全員の書面による異議がない旨の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(2) 定時社員総会（2021年6月16日）

開催場所：KKRホテル東京 10階「平安の間」を開催場所として、Web会議システム（利用サービス名：Zoom）の併用による会議

決議事項

- ・定款の改定の件
- ・理事の選任の件
- ・2020年度決算に係る計算書類の承認の件

報告事項

- ・2021年度の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の報告の件
- ・2020年度の事業報告の件

出席等

議決権のある当法人の社員の総数	11名
総社員の議決権の数	11個
出席社員数（議決権行使書提出者を含む）	11名
この議決権の総数	11個

(3) 定例理事会（2021年6月16日）

開催場所：KKRホテル東京 10階「平安の間」を開催場所として、Web会議システム（利用サービス名：Zoom）の併用による会議

決議事項

- ・会長、副会長、事務総長及び副事務総長の選定の件
- ・代表理事の選定の件
- ・業務執行理事の選定の件

- ・会長職を代行する副会長、事務総長及び副事務総長の順序を定める件
- ・事業報告等に係る提出書類の提出承認の件

報告事項

- ・2020年度寄附金受領の件
- ・大阪・関西万博の機運醸成活動の状況の件
- ・特別規則の策定の件
- ・参加招請活動の件

出席等

理事現在数 19名 定足数10名
出席理事数 12名
監事現在数 2名
出席監事数 2名

(4) 臨時理事会（2021年7月1日）

開催方法：決議省略の方法による

提案事項

- ・臨時社員総会を開催することなく、総会の目的事項について決議の省略を行う件

出席等

提案書に対し、理事19名全員の書面による同意の意思表示及び監事2名全員の書面による異議がない旨の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(5) 臨時社員総会（2021年7月1日）

開催方法：決議省略の方法による

提案事項

- ・理事の選任の件
- ・常勤理事の報酬の総額の件
- ・役員の報酬等並びに費用に関する規程の一部改定の件

出席等

提案書に対し、社員11名全員の書面による同意の意思表示を得た日をもって、社員総会の決議があったものとみなされた。

(6) 臨時理事会（2021年7月1日）

開催方法：決議省略の方法による

提案事項

- ・常勤理事の報酬額決定の件
- ・副事務総長の選定の件

- ・業務執行理事の選定の件
- ・会長職を代行する副会長、事務総長及び副事務総長の順序を定める件
- ・副事務総長の職務権限規程の改定の件
- ・理事会運営規程等の一部改定の件

出席等

提案書に対し、理事19名全員の書面による同意の意思表示及び監事2名全員の書面による異議がない旨の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(7) 臨時理事会（2021年8月26日）

開催方法：決議省略の方法による

提案事項

- ・臨時社員総会の開催に関する件

出席等

提案書に対し、理事19名全員の書面による同意の意思表示及び監事2名全員の書面による異議がない旨の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(8) 臨時社員総会（2021年9月13日）

開催場所：ホテルニューオータニ大阪2階「鳳凰Ⅲ」を開催場所として、Web会議システム（利用サービス名：Zoom）の併用による会議

決議事項

- ・理事の選任の件

出席等

議決権のある当法人の社員の総数	11名
総社員の議決権の数	11個
出席社員数（議決権行使書提出者を含む）	11名
この議決権の総数	11個

(9) 臨時理事会（2021年9月13日）

開催場所：ホテルニューオータニ大阪2階「鳳凰Ⅲ」を開催場所として、Web会議システム（利用サービス名：Zoom）の併用による会議

決議事項

- ・キャラクター選考にかかる審査手続きの件

報告事項

- ・会長、事務総長及び副事務総長の職務の執行状況の件
- ・大阪・関西万博の機運醸成活動状況の件

- ・参加招請活動の件
- ・特別規則の策定の件

出席等

理事現在数 31名 定足数16名
 出席理事数 25名
 監事現在数 2名
 出席監事数 2名

(10) 臨時理事会(2021年11月26日)

開催方法:決議省略の方法による

提案事項

- ・臨時社員総会の開催に関する件

出席等

提案書に対し、理事31名全員の書面による同意の意思表示及び監事2名全員の書面による異議がない旨の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(11) 臨時社員総会(2021年12月15日)

開催場所:ホテルニューオータニ東京 ザ・メイン1階「アッザレーア」を開催場所として、Web会議システム(利用サービス名:Zoom)の併用による会議

決議事項

- ・会計監査人の選任の件

出席等

議決権のある当法人の社員の総数	11名
総社員の議決権の数	11個
出席社員数(議決権行使書提出者を含む)	11名
この議決権の総数	11個

(12) 臨時理事会(2021年12月15日)

開催場所:ホテルニューオータニ東京 ザ・メイン1階「アッザレーア」を開催場所として、Web会議システム(利用サービス名:Zoom)の併用による会議

決議事項

- ・副会長の選定の件
- ・会長職を代行する副会長、事務総長及び副事務総長の順序を定める件
- ・公益社団法人2025年日本国際博覧会協会事務局組織規程の一部改定の件
- ・会計監査人の報酬額決定の件
- ・テーマ事業の協賛に関する件

- ・ 入場券販売関連システムサービス提供業務委託の件

報告事項

- ・ 独立行政法人等からの職員派遣の件費負担の件
- ・ 持続可能性有識者委員会の設置の件
- ・ 催事企画プロデューサー及び大阪・関西万博催事アドバイザーの設置の件
- ・ 参加招請活動の件
- ・ 特別規則の策定の件
- ・ テーマソングの件

出席等

理事現在数 31名 定足数16名
出席理事数 26名
監事現在数 2名
出席監事数 2名

(13) 臨時理事会(2021年12月23日)

開催方法: 決議省略の方法による

提案事項

- ・ 指定寄附金の指定申請の件

出席等

提案書に対し、理事31名全員の書面による同意の意思表示及び監事2名全員の書面による異議がない旨の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(14) 臨時理事会(2022年2月22日)

開催方法: 決議省略の方法による

提案事項

- ・ 臨時社員総会の開催に関する件

出席等

提案書に対し、理事31名全員の書面による同意の意思表示及び監事2名全員の書面による異議がない旨の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(15) 臨時社員総会(2022年3月15日)

開催場所: ホテルニューオータニ東京 1階「Edo ROOM」を開催場所として、Web会議システム(利用サービス名: Zoom)の併用による会議

決議事項

- ・ 理事の選任の件

出席等

議決権のある当法人の社員の総数	11名
総社員の議決権の数	11個
出席社員数（議決権行使書提出者を含む）	11名
この議決権の総数	11個

(16) 定例理事会（2022年3月15日）

開催場所：ホテルニューオータニ東京 1階「Edo ROOM」を開催場所として、Web会議システム（利用サービス名：Zoom）の併用による会議

決議事項

- ・ 2022年度事業計画、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認の件
- ・ 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会事務局組織規程の一部改定の件
- ・ 副事務総長の職務権限規程の改定の件
- ・ 会場整備にかかる工事等発注の件

報告事項

- ・ 会長、事務総長及び副事務総長の職務の執行状況の件
- ・ 2025年日本国際博覧会協会寄付金募集基本方針及び寄付募集計画の件
- ・ 大阪・関西万博の機運醸成活動状況の件
- ・ 企業・団体の大阪・関西万博参加の件
- ・ 参加招請活動の件
- ・ 特別規則の策定の件
- ・ 公式参加者用の宿舎準備の件

出席等

理事現在数	33名	定足数	17名
出席理事数	27名		
監事現在数	2名		
出席監事数	2名		

5 役員就退任

- ・ 2021年 5月11日 理事及び副会長退任（深野 弘行 氏）
- ・ 2021年 6月 1日 理事及び代表理事並びに会長退任（中西 宏明 氏）
- ・ 2021年 6月16日 理事及び代表理事並びに会長就任（十倉 雅和 氏）
理事及び副会長就任（古市 健 氏）
- ・ 2021年 6月30日 理事及び副事務総長退任（森 清 氏）
- ・ 2021年 7月 1日 理事及び副事務総長就任（前田 泰宏 氏）

- ・ 2021年 9月13日 理事就任
 - 浅川 智恵子 氏
 - 生駒 京子 氏
 - 小川 理子 氏
 - ロバート キャンベル 氏
 - 栗原 美津枝 氏
 - ウスビ・サコ 氏
 - 佐野 真由子 氏
 - 武内 紀子 氏
 - 野崎 治子 氏
 - 長谷川 真理子 氏
 - 廣瀬 恭子 氏
 - 福本 ともみ 氏
- ・ 2021年12月15日 副会長就任
 - 浅川 智恵子 氏
 - ウスビ・サコ 氏
- ・ 2022年 3月15日 理事就任
 - 御手洗 瑞子 氏
 - 芳野 友子 氏

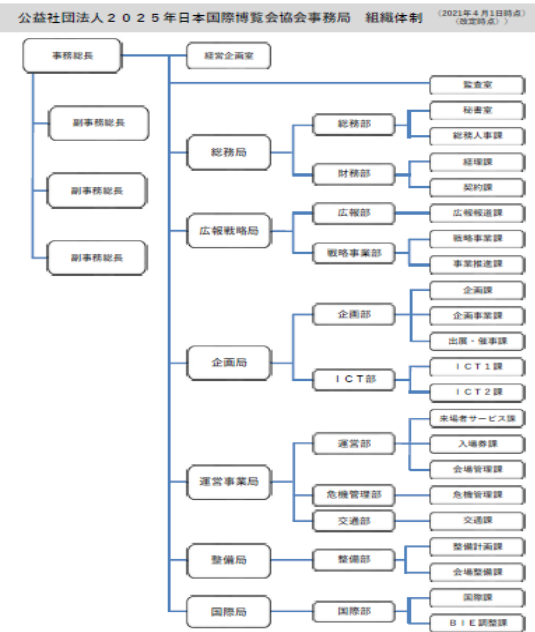
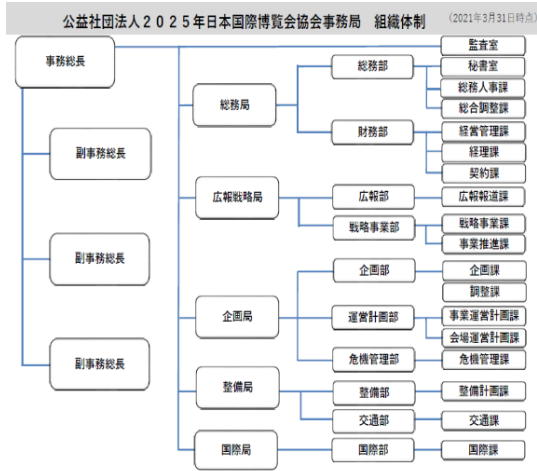
6 事務局体制

(1) 職員数の推移

- ・ 2021年 4月 1日 職員253名に増員
- ・ 2021年 6月 1日 職員260名に増員
- ・ 2021年 8月 1日 職員269名に増員
- ・ 2021年 8月31日 職員270名に増員
- ・ 2021年 9月 1日 職員276名に増員
- ・ 2021年11月 1日 職員300名に増員
- ・ 2022年 1月 1日 職員310名に増員
- ・ 2022年 2月28日 職員318名に増員
- ・ 2022年 3月31日 職員327名に増員

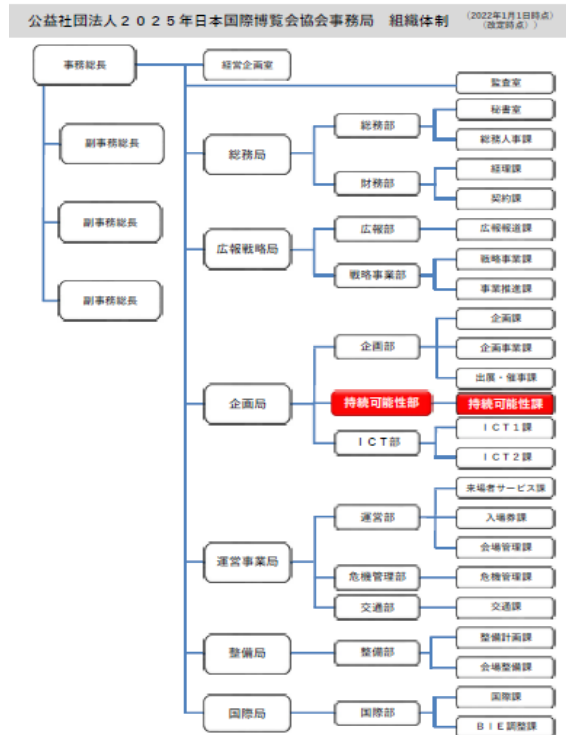
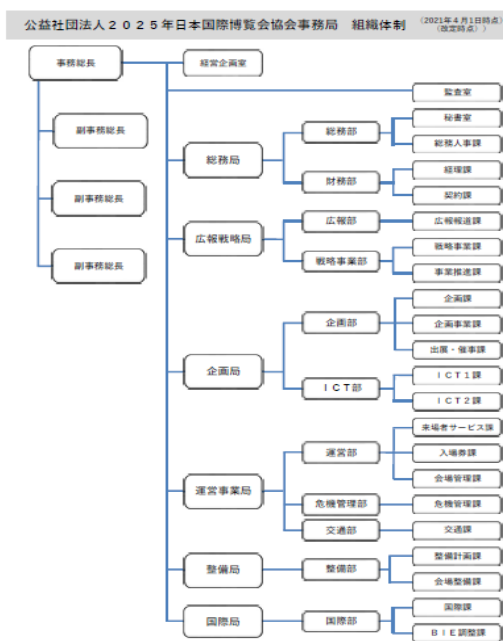
(2) 事務局組織の変遷

事務局体制図



【2021年3月31日時点】

【2021年4月1日時点 (改定時点)】



【2021年12月31日時点 (改定前)】

【2022年1月1日時点 (改定後)】

※ 2022年1月1日、当協会に企画局持続可能性部及び持続可能性課を置いた。

7 主な契約案件

- (1) 2025年日本国際博覧会 熱供給設備設計業務
- ・契約の相手方 株式会社安井建築設計事務所
 - ・契約金額 246,972,000円(税込)
 - ・契約日 2021年4月15日
 - ・契約期間 2021年4月15日～2022年4月29日
- (2) 2025年日本国際博覧会 電気設備設計業務
- ・契約の相手方 株式会社ニュージェック
 - ・契約金額 290,697,000円(税込)
 - ・契約日 2021年4月13日
 - ・契約期間 2021年4月13日～2022年4月29日
- (3) 2025年日本国際博覧会 会場整備に係るプロジェクトマネジメント支援業務
(その2)
- ・契約の相手方 株式会社山下PMC・阪急コンストラクション・マネジメント株式会社共同企業体
 - ・契約金額 231,000,000円(税込)
 - ・契約日 2021年4月15日
 - ・契約期間 2021年4月15日～2022年3月23日
- (4) 2025年日本国際博覧会 管理施設等基本設計業務
- ・契約の相手方 安井・昭和・東畑設計共同企業体
 - ・契約金額 237,395,400円(税込)
 - ・契約日 2021年5月10日
 - ・契約期間 2021年5月10日～2022年4月28日
- (5) 2025年日本国際博覧会 会場全体ランドスケープ及びパビリオン等基本設計業務
- ・契約の相手方 日建設計・日建設計シビル・パシフィックコンサルタンツ共同企業体
 - ・契約金額 296,989,000円(税込)
 - ・契約日 2021年5月18日
 - ・契約期間 2021年5月18日～2022年5月31日
- (6) 2025年日本国際博覧会 会場外駐車場等予備設計業務
- ・契約の相手方 中央復建コンサルタンツ株式会社
 - ・契約金額 198,000,000円(税込)
 - ・契約日 2021年8月24日
 - ・契約期間 2021年8月24日～2023年3月15日
- (7) 2025年日本国際博覧会 ゲート施設基本設計業務
- ・契約の相手方 安井・昭和・東畑設計共同企業体
 - ・契約金額 106,689,000円(税込)
 - ・契約日 2021年10月4日
 - ・契約期間 2021年10月4日～2022年3月23日
- (8) 2025年日本国際博覧会 大屋根(リング)基本設計業務
- ・契約の相手方 東畑・梓設計共同企業体
 - ・契約金額 159,500,000円(税込)

- ・ 契約日 2021年10月20日
- ・ 契約期間 2021年10月20日～2022年4月28日

(9) 2025年日本国際博覧会 大催事場基本設計業務

- ・ 契約の相手方 株式会社伊東豊雄建築設計事務所
- ・ 契約金額 107,471,100円(税込)
- ・ 契約日 2021年11月22日
- ・ 契約期間 2021年11月22日～2022年4月28日

(10) 工事負担金に関する契約書(万博会場に電気を供給するための設備工事の負担金)

- ・ 契約の相手方 関西電力株式会社・関西電力送配電株式会社
- ・ 契約金額 192,654,000円(税込)
 (内訳:新設分【0kW→10,000kW】42,812,000円
 増量分【10,000kW→45,000kW】149,842,000円)
- ・ 契約日 2021年12月27日

8 資金の確保

- (1) 寄附金収入 18,145,376,650円
- 1 一般寄附金 23,220,000円
 - 2 特別寄附金 18,122,156,650円
- ※ 現物寄附は除く

- (2) 補助金収入 844,350,928円
- 1 国庫補助金 404,443,964円
 - 2 地方公共団体補助金等 404,443,964円
 - 3 民間補助金 35,463,000円

事業報告書の附属明細書

2021年度事業報告（2021年4月1日から2022年3月31日まで）には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」として記載すべきことはない。